

## 吉田秀雄国際学術賞を募集します

当財団では広告・マーケティング研究分野において国際的な業績を挙げた研究者を顕彰する「吉田秀雄国際学術賞」を制定しています。世界で活躍する研究リーダーを称えることにより日本の研究力の向上を期するもので、当財団が指定する国際トップジャーナルで論文を発表した研究者を褒賞します。過去に当財団の助成を受けた研究者を対象とし、吉田秀雄の誕生日である11月9日頃に贈賞式を行います。



栄えある第1号は、守口剛  
早稲田大学教授に贈られた

### 1. 受賞対象者

以下に指定する国際ジャーナルにおいて論文が前年度もしくは本年度に受理または掲載された研究者(共同執筆を含む)で、原則として次の要件を共に満たす者

- ・ 当財団が実施する研究助成の「常勤研究者の部」において単独で、またはグループ研究の代表者として助成を受けた者
- ・ 論文が受理および掲載された時点で国内の大学または研究機関に常勤研究者として籍を置く者

### 2. 指定国際ジャーナル

- ・ Journal of Marketing (American Marketing Association)
- ・ Journal of Marketing Research (American Marketing Association)
- ・ Marketing Science (Institute for Operations Research and the Management Sciences)
- ・ Journal of Consumer Research (Association for Consumer Research)

### 3. 申込

受付期間：毎年4月1日～9月1日

申込方法：論文が受理された証憑あるいは掲載誌を添付して「掲載された雑誌名、論文タイトル、巻数・号数、出版年」を明記の上、以下の事務局宛てにお申し込みください。受賞候補者本人による申し込みを原則とします。

申込先：公益財団法人吉田秀雄記念事業財団  
josei@yhmf.jp

### 4. 受賞者決定

当財団の選考委員会による審議を経て受賞者を決定します。

### 5. 表彰

本賞の表彰は、吉田秀雄の誕生日である11月9日前後に「助成研究吉田秀雄賞」贈賞式と併せて行います。

受賞者には賞状および副賞100万円を贈呈します。ただし同一論文に受賞対象者が複数いる場合、論文1件につき100万円とします。

## ヤマタノオロチをモチーフとしたVIを制作

「吉田秀雄国際学術賞」を受賞する研究は、マーケティング・コミュニケーション研究の発展に、国内のみならず国際的に寄与するものである。その影響はやがて世界中に広がり、人々の生活を豊かにしていくはずだ。

研究の成果が四方八方に広がり、伝播していくさま。そして、そんな輝かしい研究の裏にある、苦闘やもがき。それら全てが、古代日本神話の荒ぶる水の神・ヤマタノオロチの姿と重なった。

社会を前に進める発見には、ヤマタノオロチの八つの首のように、たくさんのエネルギーが渦巻いているはず。問い続ける力。積み重ねる力。耐える力。諦めない力。突き進み、突き抜け、そして、さまざまな場所へ波及していく力。それらを表現した。

VIのテーマは「INTELLIGENCE STRUGGLES.」受賞者が研究と向き合う中で経験された「知のもがき」までも称え、次へ進んでゆく糧としていただきたい。そんな願いが込められている。



吉田秀雄国際学術賞  
Yoshida Hideo International Academic Award

# 2023年度(第57次)研究助成応募状況

2023年度(第57次)研究助成は、募集を1月10日に締め切ったところ35件の応募がありました。応募の内訳は下表のとおりです。

本事業は“広告・広報・メディアを中心とするマーケティングおよびコミュニケーション等”分野の常勤研究者および大学院生を対象に研究助成を行うものです。助成金の給付のほか、助成対象者が利用できる消費者調査を実施します。提出された研究成果は審査の上、優秀な研究に「助成研究吉田秀雄賞」を授与します。

自由課題と指定課題を募集し、今年度は以下3点の指定課題を設定しました。

- 1)消費者との効果的なコミュニケーションを行う方法に関する研究
- 2)広告・コミュニケーション研究やマーケティング研究の新たな方法論の開発につながる他領域における関連研究
- 3)パンデミックがもたらしたインパクトに関する研究

2023年度の助成対象研究は、下記のメンバーによる選考委員会を経て3月の理事会において決定されます。

選考委員長	嶋村和恵	早稲田大学教授
選考副委員長	清水 聡	慶應義塾大学教授
選考委員	青木貞茂	法政大学教授
選考委員	阿久津 聡	一橋大学大学院教授
選考委員	井上哲浩	慶應義塾大学大学院教授
選考委員	岸 志津江	東京経済大学名誉教授
選考委員	久保田進彦	青山学院大学教授
選考委員	里村卓也	慶應義塾大学教授
選考委員	澁谷 覚	早稲田大学大学院教授
選考委員	田中 洋	中央大学名誉教授
選考委員	疋田 聡	東洋大学名誉教授
選考委員	南 知恵子	神戸大学大学院教授
選考委員	吉見俊哉	東京大学大学院教授

## 応募数(前年度比)

常勤研究者		大学院生		総数(前年度比)
29		6		35(+7)
継続研究数	指定課題数	継続研究数	指定課題数	
18	17	0	3	

## Editor's Note

取材先で、スピルバーグ監督の映画『レディ・プレイヤー1』の話題が時折出る。本誌特集企画のもの一つもこの映画である。あるTV番組で天才スピルバーグが特集されていた。さまざまなジャンルへの関心、多くの視聴者を驚かせたり喜ばせたりしたいという情熱から繰り出されるアイデア、凄いのはそれら全部を合わせた水平統合力だ。(傾)

今年度の本誌の特集は、メタバースやDXなどを取り上げ、Web3で締めくくります。社会や人々の暮らしを変えるテクノロジーが、想像をはるかに超えるスピードで進化を続ける現在。しかし、そこで見えてきたのは対面で会うことの大切さでした。リアルとバーチャルをバランスよく取りまぜたコミュニケーションが、さらにつながりを広げてくれます。(葡萄)

デパートのトイレでハンドドライヤーが再び使えるようになっていました。嬉しくなり、手洗いはそこそこに温かな風を感慨深く味わいました。3月にはマスクの着用も大幅に緩和されます。解放感の一方で、3年間は非日常が日常になるのに十分な期間でした。奇妙なパラレルワールドに来てしまったような、そんな感覚がまだぬぐえませんが。(ひろた)

AD STUDIES 2023年3月25日号 通巻83号  
公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団  
〒104-0061  
東京都中央区銀座7-4-17 電通銀座ビル  
TEL : 03-3575-1384 FAX : 03-5568-4528  
URL : <http://www.yhmf.jp>

発行人 岩下 幹  
編集長 布施博嗣  
編集部 岩本紀子、沓掛涼香  
編集協力 プレジデント社  
表紙デザイン 八木義博+藤田将史、中谷晴子(Creative Power Unit)  
撮影 片村文人

本文デザイン 南 剛(中曽根デザイン)  
校正 株式会社ヴェリタ  
印刷・製本 大日本印刷株式会社

©公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団  
掲載記事・写真の無断転載を禁じます。